

いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。  
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に  
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

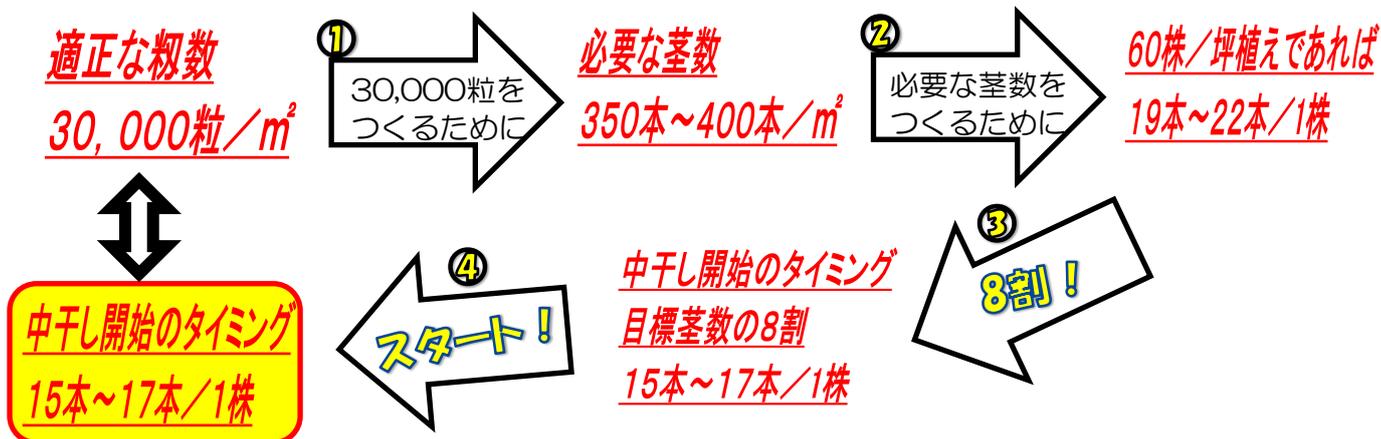


## 適正な籾数をめざして、遅れずに中干しを！！ 品質向上

例年どうしても、4月・5月の田植えでは、水稻の出穂時期と気温の高い時期が重なりやすく、高温の影響を受けて白未熟粒の発生が多くなり米の品質が低下しています。中干しをして登熟期の高温に負けない強い稲づくりに取り組みましょう。また、遅れずに中干しを開始することで、過剰な分けつを抑え、適正な籾数を目指しましょう。

**中干しの効果** ・ 過剰生育の抑制/倒伏防止 ・ 根の活性化 ・ 土壌硬度の確保

**適正な籾数をめざす為の中干しのタイミング 目標茎数の8割になればスタート！！**



### 中干しを開始する目安は

**50株/坪植えでは18本/株 60株/坪植えでは16本/株**

**田んぼに入り、茎の本数を数え中干しを開始しましょう！！また、米の品質を確保するために、収穫7日前まで落水せずに水管理をするには、今からの中干し作業が大切です。**

### 中干し開始から終了後の水管理

中干し期間は10日間前後ですが、砂地など乾きやすい水田は短く、水はけの悪い水田では長めにします。また、6月に入ると梅雨時期に重なり、中干しを開始しても乾かないこともあるので早めに中干しを開始するようにしましょう。中干しは田面に小さな亀裂が入る程度にし、歩いた時に軽く足跡がつく程度にします。遅くても出穂20日前までに中干しを終了し、水不足で穂の生育に影響しないようにして下さい。中干し終了直後の水管理は走り水や間断灌水にし、根の伸長が衰えないようにしましょう。根数は出穂前20日前頃に最大になり、出穂期には新根がほとんど出なくなります。成熟期までしっかりと根の活力を残すことが重要です。

**中干し終了後  
溜め水は根を痛めます！**